



県費事務改善検討委員会が始まりました

6月3日（金）に鹿児島県教職員互助組合会館にて県費事務改善検討委員会事業説明会が開催されました。

会の中では今後のマニュアル配布に至るまでのスケジュールの確認とそれぞれの手当担当部所での役割分担の確認がなされました。

各地区から選出されました常任・常設委員と検討委員の皆さんが中心になり今後、作業を進めて参ります。現在、それぞれの地区においては各マニュアル等の修正点や要望、ご意見を集約中の事と思います。気になる点など何かありましたら遠慮なく各地区の検討委員さんへご連絡ください。

具体的なスケジュールにつきましては夏季休業中に2回県費事務改善検討委員会を開催いたします。その後、例年10月には県教育委員会教職員課と総務福利課に点検を依頼して年明けの2月頃には会員の皆さんのお手元に届くようにいたします。

今後も、精度の高いマニュアルを目指して参りますので会員の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

担当部所	常任・常設委員	検討委員
手当認定マニュアル (扶養・児童手当)	畠中 真一(松元中) 星崎 武志(生冠中)	大迫 浩二(大川中) 柳田 育美(明和小) 平嶺 麻衣(住吉小) 臺場 伸一郎(青戸中)
手当認定マニュアル (住居・通勤 ・単身赴任手当)	内田 ひとみ(一倉小) 田上 陽平(宮内小) 田中 誠(東郷中)	岸元 裕成(山田中) 牧 武志(緑が丘小) 徳重 昭宏(松山小) 山之口 勝(伊集院北小)
県小中学校事務の 実務手引書	安永 尊智(日当山中)	
福利厚生様式の 記入例作成委員会	海邊 淳平(大始良中)	

学校事務現状報告会を開催します！

例年8月に開催されます学校事務現状報告会では、各地区から今学校が抱えている諸課題に様々な角度から、とり組んだ実践報告がなされています。

今年度も8月10日（水）午後から、鹿児島県教職員互助組合会館にて開催されます。

現在、各地区におかれましては案内があったかと思えます。

毎年実施していますアンケートでは参加して良かったとの意見が多数寄せられています。

何か一つでもヒントを持ち帰って頂けたらありがたいです。ご参加お待ちしております。

【報告内容】

- 1 「就学支援への関わり(みんなで進める児童生徒の就学支援)」
肝付町小・中学校事務職員会
- 2 「金峰地区における学校徴収金事務へのとりくみについて」
南さつま市小中学校事務職員協議会

詳しくはこちらのホームページからどうぞ。

http://www.kyojo.jp/kenjikyuu/top_screen.html



県費事務改善検討委員会事業説明会の様子

各地区の事務職員会等の紹介

熊毛地区
から

南種子町事務職員会の紹介

(南種子中学校 大江康雄)

こんにちは。南種子町事務職員会の地区紹介が回ってきました。

本町のメンバーは小学校7名(うち兼務校1校)、中学校1名で構成されており、町事務職員研修会と町事務支援室は同じメンバーで研修に励んでおります。5校あった中学校は平成6年に1校に統一され、町内では現在生徒数144名、児童数299名在籍し、小学校については小学2年生から6年生までの全国各地から募集した第21期宇宙留学生の32名も含んでおります。7年前の地区紹介ではベテラン揃いと紹介されておりましたが、昨年度から一新され主幹1・主査1・新採及び期限付6になり、そして今年度は主査の代わりに専門員2名が配置され、年齢構成は大部若くなっています。男女比率は3:5で、新採配置に関しては今年度で4年連続になります。

年間研修計画では、本年度研修会を6回と支援室を13回計画しておりますが、特徴としては若手の人材育成に力点が置かれ、町研修会と町支援室が同じメンバーのため研修内容が交錯することもあります。

教育事務所の事務指導は毎年実施があり、支援室においては扶養手当・住居手当の受給権調査を毎年行ったり、拠点校以外の会場校で開催する場合には県費関係の帳票点検を行ったりしています。昨年度は各校で旅行命令簿の様式が異なっていたので、様式を改善統一できました。

事務支援室関係では、平成24年2月に運営規程や事務の専決規定及び学校管理規則の一部が整備され、平成24年度より完全実施されています。

支援室の業務が、諸手当の認定や給与報告書確認並びに規則等や事務職員会資料の説明に多くの時間を費やし、基本的な相互支援活動や事例研修になっているのが現状です。、在職期間が3年~5年の短い期間のなか、今年度はできれば支援室便りや他の地区が手がけだしている備品等の購入等何かマネジメントできる支援業務を模索していきたいと思っています。

町予算関係については、他地区と同様に学校予算配当が厳しくなっておりますが、前年度に新年度当初予算見積書を作成し、後日そのための予算ヒアリングがあります。新年度に備品購入の予定変更や流用は原則認められていません。また、予算や備品及び施設利用に関する決算審査や定期監査及び抽出による全備品監査も毎年行われています。予算額5万円を超える物品等(図書を含む)は学校で見積依頼・入札を行い、請書や検査調書を作成して執行していますが、なかなか手間のかかる作業です。また、需用費の消耗品購入については、役場の財務係で多数の物品単価契約が取り決められ各指名業者から購入している状況です。

南種子町は人口約5800人の町ですが、種子島宇宙センターがあり2016年2月にH-II A30号が打ち上げられ、今年度は年5回の打ち上げが予定されており大勢の見物客で賑わいそうです。

町内には、鉄砲伝来地の門倉岬や御田植祭で有名な宝満神社・町営の河内温泉センターもあります。天然記念物指定のマングローブや竹崎サーフポイント、浜田海水浴場・千座の岩屋、また食べ物では高級貝のながらめや赤米・安納芋や南泉(焼酎)・インギー地鶏など価値の高いものいろいろあり、仕事に疲れたときには、五感・心身とも癒やされています。

〈写真は町ホームページより〉



鹿児島県教職員福祉事業連絡会議からのお知らせ

一般財団法人

鹿児島県教職員互助組合

(通称：互助組合)

住 所：鹿児島市照国町11-35

電 話：099-225-4555 FAX 099-222-7750



【主な事業】

- ①給付事業 ②弔意・見舞金事業 ③貸付事業
 - ④公益事業（スクールコンサート）⑤会員証事業
 - ⑥互助組合会館の駐車場利用と会議室利用
 - ⑦退職者への福祉事業：退教互制度（75歳まで）
- などを通じて、組合員の皆様の福祉向上に努めます。

地区・市町村単位はもとより、所属での研修など事業説明が必要な場合はお気軽にご相談ください。

【お知らせ1】

7月1日より貸付利率を引き下げました。ぜひご利用ください。

住宅・医療・高額医療・教育	= 1. 2%
自動車	= 1. 4%
生活・結婚	= 1. 7%

(ただし、別途保険料をご負担いただきます)

【お知らせ2】

「不妊治療助成金」を新設しました。

【お知らせ3】

互助組合会館補修工事のため9月は会議室をお貸しできません。ご了承ください。

詳しくはWEBで！ <http://kyogo.or.jp>

活動経過及び予定

6月3日	理事会・第1回常任委員会 検討委員会事業説明会
6月10日	ホームページ更新
7月12日	理事会
7月28日	県費事務改善検討委員会
8月10日	第2回評議員会 総代会 学校事務現状報告会
8月23日	県費事務改善検討委員会

あんしん むすぶ 教職員共済

教職員共済
鹿児島県事業所

熊本地震で被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

自然災害共済を付帯する人が増えています

- ① 火災共済でも風水害の補償がありますが、自然災害を付帯すると、給付が充実します。
- ② 火災共済（火災保険）だけでは地震での火災は補償されません。
- ③ 地震の補償部分の掛金が地震保険料控除の対象になります。

(例) 木造標準タイプ 200 口加入（全壊の場合）

(一部損壊でも自然災害共済を付帯した方が、給付が多いです)

火災等の補償 2000 万円、

風水害等の補償 1450 万円（火災共済から 450 万円、
自然災害共済から 1000 万円）

地震等の補償 400 万円

掛金 35000 円

自然災害共済はいつでも付帯することができ、手続き方法・見積もり金額については、鹿児島県事業所へお問い合わせください。

鹿児島市山下町4-18（教育会館内）

Tel 099-225-2587

Fax 099-225-0248

教職員共済ホームページ

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>



編集後記

6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が交付され、満18才以上の人たちが選挙権を持つことになりました。

最近よく「主権者教育」と言われる言葉が聞かれるようになりました。既に文部科学省では「主権者教育の推進に関する検討チーム」が最終まとめを行っています。しかし高校現場では具体的な教育方法が分からないといった声も出ているようです。

海外では子どもの頃から自主性や判断力を身につけられるための教育がなされています。

今、私自身子ども時代を振り返って見ますと知識優先の学習方法が主だった気がします。

これからの子ども達が主体的に社会に参画できるように、そしてこの風潮が流行で終わらないようにしたいものです。（担当 伊尻）